

法政大学大学院

人間社会研究科

Hosei University Graduate School

博士後期課程

人間福祉専攻

修士課程

臨床心理学専攻

(財)日本臨床心理士資格認定協会
第1種指定大学院

修士課程

福祉社会専攻

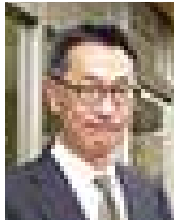
*Social
Well-being
Studies*

2017
法政大学

“生きる”を学ぶ。あしたに挑む。

人間社会研究科では、人間の“生”(life)をトータルに捉えた教育研究によって、高度な専門能力、深く幅広い知識、そして豊かな人間性を養い、新たな福祉社会の担い手となるプロフェSSIONALの育成をめざします。

■ 専任教員 人間社会研究科 (2016年度)



布川 日佐史 教授

(ふかわ ひさし)

人間社会研究科長

研究領域：公的扶助、社会保障、雇用政策
担当科目：「社会思想史研究」「福祉政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：『生活保護の論点』(単著、山吹書店)、『雇用政策と公的扶助の交錯』(共著、御茶の水書房)、『就労支援』(共著、ミネルヴァ書房)、『Das letzte Netz sozialer Sicherung in der Bewahrung』Nomos Verlag, 2012(共著)

学会活動：貧困研究会代表「貧困研究」編集委員

福祉社会

人間福祉

修士課程

福祉社会専攻

修士課程

臨床心理学専攻

(財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院

博士後期課程

人間福祉専攻



石井 享子 教授 (いしい ゆきこ)

福祉社会

人間福祉

研究領域：保健福祉学、公衆衛生学

担当科目：※2016年度はサバティカル(研究専念年度)です。

主な著書：『保健福祉学—利用者の立場に立った保健福祉サービスの展開』(共著、川島書店)、『保健福祉におけるトップマネジメント』(共著、中央法規)、『看護と介護—連携と協働への示唆』(単著、日本看護協会出版会)

学会活動：日本公衆衛生学会、米国老年科学学会、介護福祉教育学会、その他



石川 郁二 教授 (いしかわ けんじ)

福祉社会

研究領域：イギリス18世紀のAlexander Popeの作品、Thames Pathの研究

担当科目：「原書講読研究」

主な著書：『英米文学語学論叢—岡本成隆教授傘寿記念論文集』(共著、桐原書店)、『英文学と結婚』(共著、彰流社)

学会活動：英米文化学会、法政大学英文学会



伊藤 正子 教授 (いとう まさこ)

福祉社会

人間福祉

研究領域：社会福祉方法論、医療福祉論、異なる民族・文化的背景をもつ人々への社会福祉援助

担当科目：「ソーシャルワーク理論研究特論」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：『現場で働くケースワーカーの技—「バイステックの原則」を基に』(共著、現代書館)、『生活支援の福祉学』(共著、有斐閣)、『現代社会と福祉—社会福祉原論—』(共著、ミネルヴァ書房)

学会活動：日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、医療社会福祉協会、日本移民政策学会



岩田 美香 教授 (いわた みか)

福祉社会

人間福祉

研究領域：児童・家族福祉論、教育福祉論

担当科目：「児童福祉特論」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：『現代社会の育児不安』(単著、家政教育社)、『福祉国家と家族』(共著、法政大学出版局)、『社会的孤立問題への挑戦』(共著、法律文化社)、『現代社会と子どもの貧困』(共著、大月書店)、『スクールソーシャルワーカーの学校理解』(共著、ミネルヴァ書房)他

学会活動：日本社会福祉学会、日本学校ソーシャルワーク学会(代表理事)、日本家族社会学会、日本保健福祉学会(理事)、日本司法福祉学会等



金築 優 准教授 (かねつき まさひろ)

臨床心理学

人間福祉

研究領域：臨床心理学、認知行動療法

担当科目：「臨床心理学特論」「カウンセリング特論」「臨床心理実習」「臨床心理学(心理・地域)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：『大学生の心配に対するメタ認知に焦点を当てた認知行動的介入の効果』(共著、感情心理学研究17(3))2010年、『感情への恐れとストレス反応の関連性—日本語版、Affective Control Scaleの作成を通して—』(共著、感情心理学研究18(1))2010年他

学会活動：日本認知・行動療法学会、日本感情心理学学会、日本パーソナリティ学会、日本心理学会、日本心理臨床学会等



小野 純平 教授 (おの じゅんぺい)

臨床心理学

人間福祉

研究領域：臨床心理学、発達臨床心理学、心理検査学

担当科目：「臨床心理査定演習」「臨床心理学(病理・発達)特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：『子どもを理解する』(共著、へるす出版)、『臨床心理学30章』(共著、日本文化科学社)、『日本版KABC-IIマニュアル』(共著、丸善出版)、『リハビリテーション患者の心理とケア』(共著、医学書院)

学会活動：K-ABCアセスメント学会(副理事長)、日本心理臨床学会、日本内観医学会(理事)、日本LD学会等



佐藤 繭美 教授 (さとう まゆみ)

福祉社会

人間福祉

研究領域：ソーシャルワーク論(特に終末期ケアを中心として)、当事者および家族への支援(セルフヘルプ・グループを中心として)

担当科目：「福祉社会研究法」「ソーシャルワーク特論Ⅱ」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：『自閉症の人の死別経験とソーシャルワーク』(単著、明石書店)、『自閉症と発達障害研究の進歩2006 Vol.10』(共著、星和書店)

学会活動：日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会、日本臨床死生学会等



眞保 智子 教授 (しんぼ ともこ)

福祉社会

人間福祉

研究領域：若者支援論、人的資源管理論、障害者のキャリアデザイン

担当科目：「精神保健福祉特論」「福祉社会系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：『就労支援サービス』(共著、株式会社みらい)、『グローバル時代の社会—社会の視点で読み解く現代社会の様相—』(共著、株式会社みらい)、『キャリアデザイン支援ハンドブック』(共著、ナカニシヤ出版)

学会活動：日本労働学会、日本職業リハビリテーション学会、日本うつ病学会、日本キャリアデザイン学会



末武 康弘 教授 (すえたけ やすひろ) 臨床心理学 人間福祉

研究領域：臨床心理学、カウンセリング・心理療法
担当科目：「臨床心理面接特論」「臨床心理基礎実習」「臨床心理系（心理・地域）特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：「ロジャーズを読む」（共著、岩崎学術出版社）、「ロジャーズ主要著作集（全3巻）」（共訳、岩崎学術出版社）、「エビデンスにもとづくカウンセリング効果の研究」（監訳、岩崎学術出版社）、「ジェンドリン哲学入門」（共編著、コスモスライブラリー）

学会活動：日本心理臨床学会、日本人間性心理学会、日本心理学会、World Association for Person-Centered and Experiential Psychotherapy and Counseling

博士(学術)



関司 直也 教授 (ずし なおや) 福祉社会 人間福祉

研究領域：農業経済学、農山村政策論、地域資源管理論
担当科目：「地域空間学特論Ⅱ」「福祉社会研究法」「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：「地域サポート人材による農山村再生」（筑波書房）、「人口減少時代の地域づくり読本」（共著、公職研）、「農山村再生に挑む」（共著、岩波書店）、「若者と地域をつくる—地域づくりインターンに学ぶ学生の農山村の協働（共著、原書房）他

学会活動：日本農業経済学会、政治経済学・経済史学会、農業問題研究学会、農村計画学会、日本村落研究学会

博士(農学)



関谷 秀子 教授 (せきや ひでこ) 臨床心理学 人間福祉

研究領域：児童青年精神医学、精神分析学
担当科目：「精神医学特論」「力動的心理療法特論」「臨床心理系（病理・発達）特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

学会活動：精神分析学会（認定精神療法医、認定スーパーバイザー）、思春期青年期精神医学会、児童青年精神医学会（児童青年精神医学会認定医、子どものこころ専門医）、日本精神神経学会（専門医、指導医）、日本心理臨床学会等

医学博士



高取 康之 教授 (たかとり やすゆき) 福祉社会

研究領域：異文化コミュニケーション、英語教育、経営学（マーケティング）
担当科目：「原書講読研究」（2016年度非担当）

学会活動：英米文化学会

博士(文学)



土肥 将敦 教授 (どい まさあつ) 福祉社会 人間福祉

研究領域：ソーシャル・イノベーション、社会的企業家、CSR、企業と社会
担当科目：「地域経営特論Ⅱ」「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：「ソーシャル・イノベーションの創出と普及」（共著、NTT出版）2013年、「ソーシャル・エンタプライズ論」（共著、有斐閣）近刊、「ソーシャル・エンタプライズ：社会的企業の台頭」（共著、中央経済社）2006年、「CSR経営：企業の社会的責任とステイクホルダー」（共著、中央経済社）2006年

学会活動：組織学会、日本経営学会、社会・経済システム学会、企業と社会フォーラム（Japan Forum of Business and Society）

博士(商学)



中村 律子 教授 (なかむら りつこ) 福祉社会 人間福祉

研究領域：高齢者福祉論、高齢者福祉制度の比較研究
担当科目：「高齢者福祉特論」「福祉社会研究法」「福祉社会系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：「ネバールの高齢者福祉制度と“sewa（世話）”という規範」荒木誠之他編「社会保障法・福祉と労働法の新展開」（295-312）信山社、「実践としてのコミュニティ—移動・国家・運動」共著、京都大学出版会他

学会活動：日本社会福祉学会、日本地域福祉学会、日本社会学会、日本社会学会

博士(文学)



長山 恵一 教授 (ながやま けいいち) 臨床心理学 人間福祉

研究領域：比較精神療法、精神医学
担当科目：「臨床心理学研究法特論」「比較心理療法特論」「臨床心理系（病理・発達）特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：「Naikan Therapy—Techniques and principles for use in clinical practice—」（共著、大道学館）、「内観法—実践の仕組みと理論」（日本評論社）、「森田療法と精神分析的精神療法」（誠信書房）、「依存と自立の精神構造—清明心と型の深層心理」（法政大学出版局）、「心理療法の本質—内観療法を考へる」（共著、評論社）

学会活動：日本内観医学会（理事長）、日本サイコセラピー学会（理事）、日本心理療術学会連合（理事）

医学博士



丹羽 郁夫 教授 (にわ いくお) 臨床心理学 人間福祉

研究領域：臨床心理学、コミュニティ心理学、子どもの心理療法
担当科目：「心理臨床演習」「臨床心理実習」「臨床心理系（心理・地域）特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：「コミュニティ心理学入門」（共著、ナカニシヤ出版）、「よくわかるコミュニティ心理学」（共著、ミネルヴァ書房）、「医療・看護・福祉のための臨床心理学」（共著、培風館）他

学会活動：日本心理臨床学会、日本コミュニティ心理学会（副会長、編集委員）、日本学生相談学会、日本社会心理学会、日本心理学会

博士(文学)



服部 環 教授 (はっとり たまき) 臨床心理学 人間福祉

研究領域：教育心理測定学、心理データ解析
担当科目：「福祉社会特論Ⅱ」「データ分析法」「臨床心理系（心理・地域）特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：「心理・教育のためのRによるデータ解析」（単著、福村出版）、「日本版KABC-II」（共著、丸善出版）、「[使える]教育心理学」（監修・共著、北樹出版）、「Q&A心理データ解析」（共著、福村出版）

学会活動：日本教育心理学会、日本テスト学会（理事、編集委員）、K-ABCアセスメント学会（常任理事）、日本心理学会、日本応用心理学会、日本行動計量学会

教育学博士



馬場 憲一 教授 (ばば けんいち) 福祉社会 人間福祉

研究領域：文化環境政策（文化環境創造論）、文化遺産学、歴史学（日本地域史）
担当科目：「福祉社会研究法」「地域空間学特論Ⅰ」「地域・文化系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：「地域文化政策の新視点—文化遺産保護から伝統文化の継承へ」（雄山閣出版）、「近世都市周辺の村落と民衆」（雄山閣出版）、「歴史的環境の形成と地域づくり」（編著、名著出版）、「文化遺産の保存活用とNPO」（共編、岩田書院）他

学会活動：日本文化政策学会、日本エコミュージアム研究会（理事）、日本博物館学会、地方史研究協議会

博士(文学)



水野 雅男 教授 (みずの まさお) 福祉社会 人間福祉

研究領域：都市住宅政策論、市民活動運営論
担当科目：「都市・住宅政策特論Ⅰ」「地域・文化系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：「地方都市の再生戦略」（川上光彦編共著／学芸出版社）、「生活景」（日本建築学会編共著／学芸出版社）、「北陸における社会再生の可能性」（共著／NIRA研究叢書）、「農山村における都市内企業労働者のメンタルヘルス・プログラムの構築と評価手法の実証的研究」（農林水産政策研究所レビュー55号）他

学会活動：日本建築学会、日本都市計画学会、日本予防医学会

博士(学術)



宮城 孝 教授 (みやしろ たかし) 福祉社会 人間福祉

研究領域：地域包括ケアシステム、コミュニティソーシャルワーク、地域福祉計画などの地域福祉方法論
担当科目：「地域福祉特論」「福祉社会研究法」「福祉臨床系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：「イギリスの社会福祉とボランティア—（中央法規）、「コミュニティソーシャルワーク」（編著、有斐閣）、「新版地域福祉事典」（編集幹事、中央法規）、「地域福祉と民間非営利セクター」（編著、中央法規）、「ソーシャルワークと社会開発開発のソーシャルワークの理論とスキル」（監訳、丸善出版）他

学会活動：日本地域福祉学会（特任理事）、日本社会福祉学会、日本都市計画学会、日本地域福祉学会連携復興まちづくり研究会副会長

博士(社会福祉学)



保井 美樹 教授 (やすい みき) 福祉社会 人間福祉

研究領域：都市・地域計画論、計画行政、自治システム研究
担当科目：「地方自治特論Ⅱ」「地域・政策系特殊講義Ⅰ・Ⅱ」

主な著書：「エリアマネジメント」（小林重敬編共著／学芸出版社）、「地域は消えない」（岡崎昌之編共著／日本経済評論社）、「都市再生のデザイン—快適・安全の空間形成」（大西隆他編共著／有斐閣）、「大都市圏再編への構想」（小玉徹編共著／東京大学出版会）

学会活動：日本都市計画学会、日本計画行政学会、American Planning Association、Association of European Schools of Planning

博士(工学)



湯浅 誠 教授 (ゆあさ まこと) 福祉社会

研究領域：社会的包摂、貧困問題、民主主義
担当科目：「生活問題特論」

主な著書：「ヒーローを待っている世界は変わらない」（朝日文庫）、「反貧困」（岩波新書）、「なぜ活動家と名乗るのか」（ちくま文庫）

博士(文学)

福祉社会専攻

修士課程

Major in social services

本専攻では、一人ひとりのWell-beingの実現を支援することができる、高度専門職業人（ソーシャルワーカー、ケアマネージャー、コミュニティ・プランナー等）と研究者の養成をめざします。カリキュラムは、専攻の基礎となる「専門共通科目」、ソーシャルワーク系、システム・マネジメント系、コミュニティ・デザイン系の3つの系からなる「専門展開科目」、修士論文の指導やフィールドワークを通して研究指導を行う「演習科目」によって構成されています。授業は基本的に木・金曜日（一部土曜日を含む）に行います。市ヶ谷キャンパスにて、夜間（月・火）に一部科目を開講し、さらに、長期履修制度を導入するなど、社会人の方にも学びやすい環境・制度を整えています。

≫ カリキュラム構成図（一部抜粋）

専門共通科目（4単位以上を選択）

福祉社会研究に共通する研究方法を学ぶ

- ・福祉社会研究法
- ・ソーシャルポリシー特論
- ・社会思想史研究
- ・データ分析法
- ・原書講読研究

※各科目すべて2単位

専門展開科目（14単位以上を選択）

現代の福祉社会の形成に関わる最先端の課題と理論を学ぶ

【ソーシャルワーク系】

- ・ソーシャルワーク理論研究特論
- ・ソーシャルワーク実践研究特論
- ・生活問題特論

【システム・マネジメント系】

- ・社会福祉学特論Ⅰ・Ⅱ
- ・保健医療福祉システム特論

【コミュニティ・デザイン系】

- ・地域文化特論Ⅰ・Ⅱ
- ・地域空間学特論Ⅰ・Ⅱ
- ・地方自治特論Ⅰ・Ⅱ

※各科目すべて2単位

演習科目（すべて必修12単位）

個々の研究課題に沿って、修士論文に取組むよう個別指導を行う

- ・論文研究演習Ⅰ④
- ・論文研究演習Ⅱ④
- ・実践研究演習Ⅰ②
- ・実践研究演習Ⅱ②

※○数字は単位数

≫ 修士生の研究テーマ（抜粋）

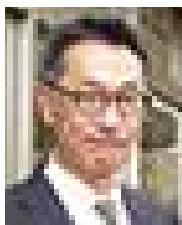
- ・知的障害者に対する就労支援のあり方に関する研究 ー知的障害当事者と企業採用担当者に対する面接調査からー
- ・身体障害当事者による福祉教育の意義 ー教育方法上の工夫に焦点を当てた実証的研究ー
- ・農山村へ向かう若者の変容
- ・「介護の社会化」の再考 ー定期巡回随時対応型訪問介護看護を通してー
- ・高齢者の居住と生活支援の接合に向けた課題と可能性 ー大都市郊外地域におけるフィールドワークを通してー
- ・軽・中度要介護高齢者の在宅ケア継続可能性に関する実証的研究
- ・民間通所介護サービスの準市場化における経営効率性と社会的責任
- ・村組の持続と終焉からみた地域コミュニティの変容

仕事をしながら通学する先輩 VOICE!

仕事と研究を両立している社会人学生のインタビュー記事掲載サイトもあわせてご覧ください。



Message



▶ 教員

布川 日佐史 教授
研究領域：公的扶助、
社会保障、雇用政策

生活に困窮した人びとへの生活保障と就労支援のシステム作りについて、ドイツの動向と比較しながら研究を進めています。新たに広がる支援の現場が直面している問題を、制度や社会が抱える理論課題として検討したいと思っています。

本研究科の特徴は、多彩な研究分野の教授陣との密なかかわりのもと、フィールドに根ざした研究を進められることです。皆さんが今までの勉強や仕事のなかで育んだ課題を、私たちとともに深め、成果を社会に還元しませんか。そんな実践的な研究に取り組む仲間や教授陣がここにいます。



▶ 在学生

宮下 裕秋 さん
2015年入学
法政大学現代福祉学部卒業

日本の社会的養護は、家庭的推進による施設の小規模化から、施設外との連携が課題となっており、その中で私は、施設と学校との連携について研究しています。この研究を行っていく上で、福祉だけでなく、教育等多くの視点から考えていくことが重要だと学びました。この多角的視点は、児童福祉の現場だけでなく、多くの実践現場において生きる力になると感じています。当研究科では、委託聴講生制度の実施により、他大学の学生と交流できます。これにより、様々な刺激や発見に出会うことができ、自分だけでは成し遂げることができなかった研究が可能になります。



▶ 修士生

大田 佳奈 さん
2013年修了
神奈川県保健福祉局 勤務
(出先機関：さがみ緑風園)

私は在学中「コミュニティを対象としたアート活動の研究」をテーマに研究に取り組みました。当研究科は“人”に焦点を置くことで、様々な角度から研究テーマを捉えることができ、同時に研究分野を超えて、様々な分野の先生方からもご指導いただけることが大きな魅力です。私は今、行政の立場から福祉に携わっていますが、大学院で培った多角的視点がおおいに役立っています。福祉や地域といった分野にとらわれることなく、人を取り巻く環境について柔軟に多角的なアプローチができる当専攻は、向学心に燃える皆さまの可能性を広げるうってつけの学習環境と言えるでしょう。

臨床心理学専攻

Major in clinical psychology

※国家資格(公認心理師)の受験資格に対応するカリキュラムを準備中です。

修士課程

(財)日本臨床心理士資格認定協会第1種指定大学院

近年頻発する児童や青年の事件で繰り返し指摘されるように、心のケアは社会全体において緊急の課題となっています。本専攻ではこうした社会的ニーズに応え、心のケアの専門家としての臨床心理士を養成します。また、心のケアは単に教育の領域にとどまらず、医療や福祉、司法・矯正、企業のメンタルヘルス、さらにはコミュニティの再生・創造の問題とも密接に関わっており、このような臨床心理学へのニーズの多様化・高度化に対応した高度職業人と研究者の養成をめざします。カリキュラムは、臨床心理学を学ぶための基幹を修得する「専門基幹科目」、それらをより深く展開するための科目と各論的に幅を広げる科目からなる「専門展開科目」、修士論文の指導を行う「研究指導科目」によって構成されています。

≫ カリキュラム構成図 (一部抜粋)

専門基幹科目 (すべて必修16単位)

臨床心理学の基礎を幅広く学ぶ

- ・ 臨床心理基礎実習②
- ・ 臨床心理学特論④
- ・ 臨床心理面接特論④
- ・ 臨床心理査定演習④
- ・ 臨床心理実習②

※○数字は単位数

専門展開科目 (14単位以上を選択)

専門基幹科目で学んだ土台を確かにし、各論的に幅を広げる

研究法科目: 臨床心理の基礎となる研究方法を学ぶ科目

・ 心理学研究法特論・データ分析法・臨床心理学研究法特論

基礎心理科目: 臨床心理の基礎となる心理学科目

・ 認知心理学特論・教育心理学特論・発達心理学特論

家族・社会心理科目: 家族や社会の心理的問題を探究する科目

・ 社会病理学特論・家族心理学特論・犯罪心理学特論

関連専門領域科目: 臨床心理と深い関連を持つ専門分野の科目

・ 精神医学特論・障害者(児)心理学特論・産業メンタルヘルス特論

専門技能科目: 臨床心理の専門技能を深く学ぶ科目

・ 学校臨床心理学特論・臨床心理地域援助特論・カウンセリング特論・医療心理学特論

※各科目すべて2単位

研究指導科目 (必修4単位)

個々の研究課題に沿って、修士論文に取組むよう個別指導を行う

- ・ 論文研究指導④

※○数字は単位数

臨床心理相談室

来談者の受理面接、心理査定、心理面接を行う

≫ 修士生の研究テーマ (抜粋)

- ・ 自閉症スペクトラム障害者の健全きょうだいの性格的特徴
- ・ 青年期における愛着と自我同一性形成に関する研究 - ECR及びIPPAからみた父母の愛着の視点から -
- ・ 入院森田療法患者の体験分析
- ・ 中学生の運動部活動におけるソーシャルサポートの実態とメンタルヘルスに関する研究
- ・ 集中内観における内観体験の質的分析 - 内観者のフェルトセンスの観点から -
- ・ マインドフルネスが孤独感の低減に及ぼす効果 - 孤独に対する捉え方に着目して -
- ・ コラージュ継続制作における内的変化とその過程
- ・ 大学生の就職活動ストレスと精神的健康度およびストレスコーピングの研究

Message



▶ 教員

久保田 幹子 教授

研究領域: 臨床心理学、
心理療法(森田療法、カウンセリングなど)、
心理査定

主に不安障害の臨床に携わりつつ、不安障害の心理とその援助、女性の心理的危機と回復、森田療法と認知行動療法などの比較などについて研究をしています。臨床心理学専攻では、臨床心理学と精神医学を専門とし、第一線で活躍する教員が学生を指導しています。また、学内に設置された臨床心理相談室や学外の病院、クリニックなど、様々な臨床現場での実習を用意しており、より専門的・実践的な学びを得られることも特徴です。修士論文に向けての研究では、研究室の垣根を超えて、様々な分野の教員から指導を受けることが出来ます。学習意欲と積極性を持つ学生を期待しています。



▶ 在学生

田邊 夏実 さん

2015年入学
法政大学スポーツ健康学部卒業

私は体育系学部在籍時学生トレーナーとして活動する中で、アスリートのメンタルヘルスに関心を持ちました。現在はアスリートのケガと反すうについての研究を行っています。臨床心理学専攻の最大の魅力は、研究室の垣根を越えて先生方にご指導いただけることだと思います。様々な専門分野の先生方そして多様なバックグラウンドを持つ学生同士の交流によって、自分の視野が広がっていくのを感じることが出来ます。積極的に自由な学びの姿勢を後押ししてもらえる充実した環境で、広く深い学びを得てみませんか。



▶ 修了生

大岩 三恵 さん

2004年修了
地方独立行政法人神奈川県立
病院機構
神奈川県立精神医療センター
コメディカル部心理科科長

大学卒業後、発達心理学や家族関係に関心を持ち、大学院に進学しました。本学臨床心理学専攻では研究室を超えて様々な分野の先生方から様々な視点を提供していただくことができるのが特徴として挙げられ、臨床心理学という分野で生かすことのできる知識を得ることができたと感じています。大学院修了後は医療機関の心理士として、年齢・疾患とも幅広い患者様の援助に当たっています。臨床の現場では悩むことも多いですが、大学院で得た知識と現在でも相談に乗っていただける関係性に支えられて臨床活動を続けることができています。

人間福祉専攻

博士後期課程

Major in social services and clinical psychology

人間社会を構成する生活者のWell-beingを実現するためには、これまで積み重ねられてきた社会福祉実践の展開に加えて、「心のケア」から「コミュニティプランニング」までを含んだトータルな実践が必要とされています。こうした総合的な人間福祉を実現するための理論研究は、21世紀の福祉社会を展望する上で重要な課題といえるでしょう。人間福祉専攻は、修士課程の教育研究をさらに発展させ、地域社会を基盤に人間の「生」(life)をトータルに捉え、新しい福祉社会の構築に関する研究者の養成をめざします。カリキュラムは、福祉・コミュニティ・臨床心理に関わる特殊研究・講義と人間福祉特別演習からなりますが、博士後期課程は科目を履修することが主目的ではなく、研究指導を受け博士論文をまとめることを目的としています。

≫ カリキュラム構成図 (一部抜粋)

必修科目

個々の研究課題に沿って、博士論文に取組むよう個別指導を行う

- ・ 人間福祉特別演習Ⅰ
- ・ 人間福祉特別演習Ⅱ
- ・ 人間福祉特別演習Ⅲ

※各科目すべて4単位

選択・必修科目 (8単位以上を選択)

各領域の重要かつ先端的な研究動向について学ぶ

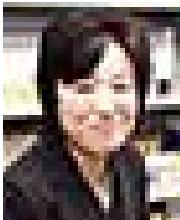
- | | | |
|--------------|---------------|-----------------------|
| ・ 福祉政策系特殊講義Ⅰ | ・ 地域・政策系特殊講義Ⅰ | ・ 臨床心理系 (心理・地域) 特殊講義Ⅰ |
| ・ 福祉政策系特殊講義Ⅱ | ・ 地域・政策系特殊講義Ⅱ | ・ 臨床心理系 (心理・地域) 特殊講義Ⅱ |
| ・ 福祉社会系特殊講義Ⅰ | ・ 地域・文化系特殊講義Ⅰ | ・ 臨床心理系 (病理・発達) 特殊講義Ⅰ |
| ・ 福祉社会系特殊講義Ⅱ | ・ 地域・文化系特殊講義Ⅱ | ・ 臨床心理系 (病理・発達) 特殊講義Ⅱ |
| ・ 福祉臨床系特殊講義Ⅰ | | |
| ・ 福祉臨床系特殊講義Ⅱ | | |

※各科目すべて2単位

≫ 修了生の研究テーマ (抜粋)

- ・ 近現代における遺跡保護とその担い手に関する研究 - 制度・政策と地域社会の動向をふまえて -
- ・ アメリカ大都市における包括的コミュニティ開発の形成と課題
- ・ 構造拘束的な体験様式と心理的距離に関する研究
- ・ 教師のメンタルヘルス規定因とバーンアウトに関する多角的研究 - 教師Well-being尺度の作成 -
- ・ 介護老人福祉施設における経営成果とその影響要因に関する研究
(介護保険制度下における施設経営への制度的・組織的要因に関する実証分析)
- ・ 自ら支援を求めない独居高齢者への地域を基盤としたアウトリーチ実践に関する研究
- ・ 教育相談群と病院群の思春期の子どもと母親の比較研究 - 子どもの精神・行動症状と母親の対象関係を中心に -

Message



▶ 教員

中村 律子 教授
研究領域：高齢者福祉論、
高齢者福祉制度の比較研究

私たちの暮らしや地域社会の諸問題への完全な解決策は見いだされていません。解決策は、専門知識、深淵な価値観、理論と実践を統合し、生(life)やwell-beingの概念の質を高める中から試みられると考えます。本専攻では、さまざま学術的関心とテーマからそれらに迫ろうとする方々に対して、各指導教員の手厚い研究指導・助言を行っています。研究は新たな知の発見／挑戦であり、苦しくも楽しいものです。学術的な成果からだけでなく、専門性を持った立場で社会貢献に寄与することを目指す方々を教員一同で待っています。



▶ 在学生

安保 直子 さん
2013年入学
言語聴覚士

失語症がある人の意思疎通支援に関する研究を行っています。博士論文の作成は苦行の連続ですが、先生方から鋭く的確なご教授を頂ける有難さや、同じ志をもつ仲間からの励ましに支えられ、研究ができることに幸せを感じる日々です。仕事との両立で思うように集中できないもどかしさもありますが、日常に実践の場があるからこそ見えてくる課題や発見も多く、社会人が研究の場に身を置くことの意義は大きいと思います。また本学はサポート体制も充実しており、恵まれた環境で研鑽を積むことができている。



▶ 修了生

呉 世雄 さん
2013年修了
常磐大学コミュニティ振興学部 助教

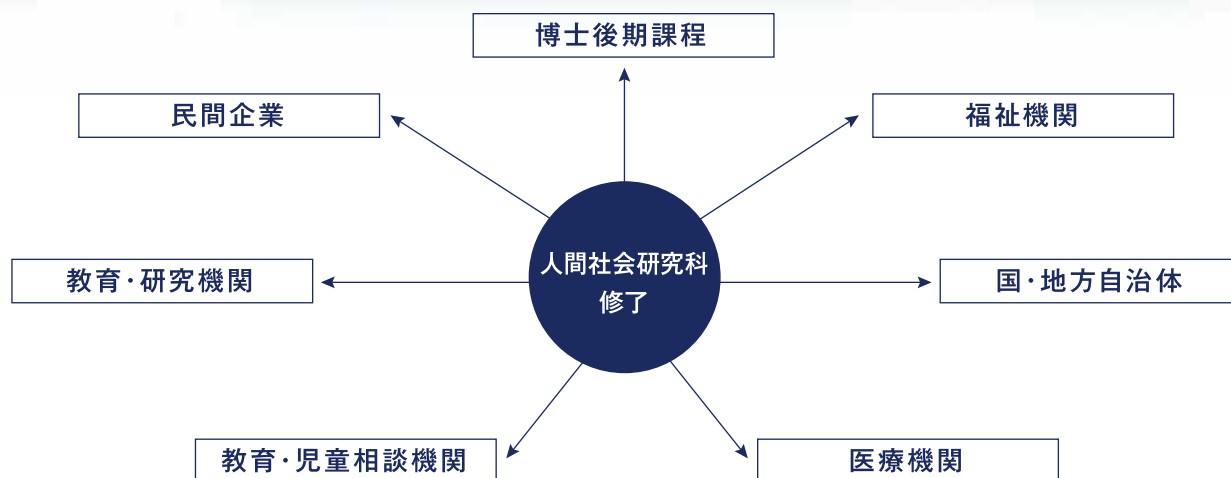
私は、韓国政府国費留学生として2010年に人間社会研究科に入学しました。福祉サービスの質や継続性を担保するための制度や実践について興味を持ち、福祉経営に関するテーマで博士論文を執筆し、現在は大学で教鞭をとっています。人間社会研究科の魅力は、少人数制による指導体制と、充実した研究支援体制だと思います。在籍の頃、研究が思うように進まない時もありましたが、その都度、指導教員はもちろん多くの先生方から的確なご指導を頂き、励まされたことが沢山ありました。親密な関係性のなかで結ばれた多くの先生方、先輩や後輩との絆は、今では心強い研究ネットワークとなっています。

修了者の進路

修了した方々は大学院での豊かな経験を活かし、様々な進路をとっています。

また、働きながら研究活動を行い、研究の成果を業務に活かされている方もいます。近年の主な進路先をまとめました。

大学院での研究活動を活かして未来の道を拓きませんか？



修了後の進路 (過去11年間分)

福祉社会専攻 ◎修士課程

| | | | |
|---------------|-----|---------------|-----|
| ・福祉機関 | 12名 | ・団体職員 | 2名 |
| ・民間企業 | 9名 | ・社会人入学で修了後も在職 | 19名 |
| ・進学(博士後期課程ほか) | 10名 | ・その他 | 15名 |
| ・公務員 | 2名 | ・研究生 | 4名 |
| ・独立行政法人 | 1名 | ・教員 | 1名 |

臨床心理学専攻 ◎修士課程 「臨床心理士」資格取得者 2004~2014年度修了生 156名受験 150名合格

| | | | |
|--------------|-----|-----------------|-----|
| ・医療機関(心理職) | 45名 | ・団体職員 | 6名 |
| ・医療機関 | 3名 | ・民間企業(心理職・総合職) | 7名 |
| ・教育相談機関(心理職) | 30名 | ・児童福祉相談所関係(心理職) | 15名 |
| ・スクールカウンセラー | 11名 | ・進学(博士後期課程ほか) | 5名 |
| ・福祉機関(心理職) | 13名 | ・大学学生相談室 | 3名 |
| ・公務員(含む心理職) | 20名 | ・その他 | 5名 |

人間福祉専攻(学位取得者24名) ◎博士後期課程

| | | | |
|------------|-----|------------|----|
| ・私立大学教員 | 13名 | ・医療機関(福祉職) | 1名 |
| ・国立大学教員 | 1名 | ・教員 | 1名 |
| ・私立大学研究員 | 4名 | ・公務員 | 2名 |
| ・独立行政法人研究員 | 1名 | ・団体職員 | 1名 |

※継続在職も含む

キャンパス紹介



◀臨床心理学専攻の学生が臨床心理士をめざし実習を行う施設です。面接室2つ、プレイセラピー室3つ、グループ療法室1つを備えた充実した環境で、臨床心理士の資格を持ったカウンセラーによる指導が行われます。

大学院は、もっと学びやすくなります！

法政大学大学院では、より幅広い優秀な人材を受け入れるための学生支援策として、奨学金制度やティーチングアシスタント(TA)制度、リサーチアシスタント(RA)制度を充実させ、経済面からも大学院での研究活動を支援しています。

福祉社会専攻および臨床心理学専攻は、本学を含めた11大学から成り立つ首都大学院コンソーシアムに加盟し、さらに福祉社会専攻は、本学を含めた12大学から成り立つ大学院社会福祉学専攻課程協議会に加盟しているなど、他大学院での科目を修得することで修了単位に認定される単位互換制度を設けています。

首都大学院コンソーシアム

順天堂大学大学院、専修大学大学院、中央大学大学院、東京電機大学大学院、東京理科大学大学院、東洋大学大学院、日本大学大学院、明治大学大学院、共立女子大学大学院、玉川大学大学院

大学院社会福祉学専攻課程協議会協定校

上智大学大学院、明治学院大学大学院、日本女子大学大学院、東洋大学大学院、淑徳大学大学院、日本社会事業大学大学院、大正大学大学院、立正大学大学院、ルーテル学院大学大学院、関東学院大学大学院、立教大学大学院

≫ 入試日程および選抜方法 [※詳細は入学試験要項にてご確認ください]

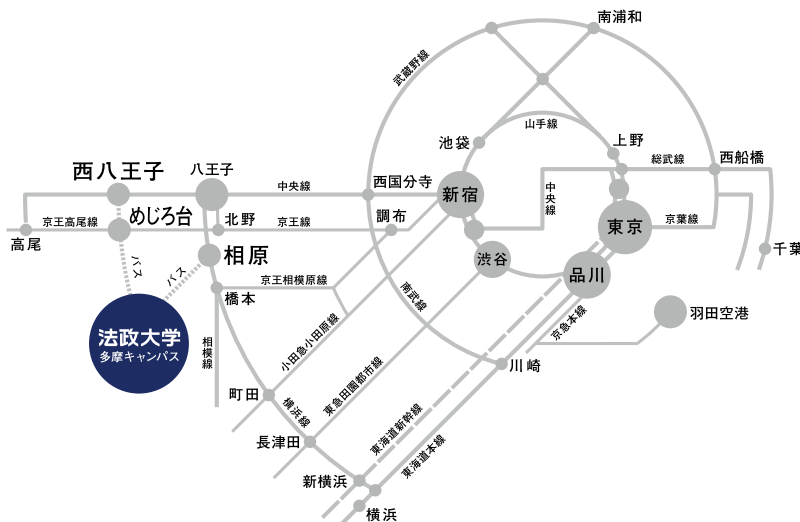
| 専攻 | 募集定員 | 入試経路 | 出願期間 | 筆記試験日 | 口述試験日 | 最終合格発表 | 選抜方法 |
|-------|------|------------|-------------------------|----------|----------|-----------|--|
| 福祉社会 | 15名 | 一般社会人 | 2016年 9月 1日(木)～9月 8日(木) | 9月25日(日) | 9月25日(日) | 10月 7日(金) | 一般 ▶ 筆記試験(英語・専門科目)および口述試験(面接) ※英語は英和・英英辞典持込参照可 |
| | | 外国人留学生 | 2016年 8月25日(木)～9月 1日(木) | 9月25日(日) | 9月25日(日) | 10月 7日(金) | 社会人 ▶ 筆記試験(専門科目)および口述試験(面接) |
| | | 一般社会人 | 2017年 1月19日(木)～1月26日(木) | 2月18日(土) | 2月18日(土) | 3月 2日(木) | 外国人留学生 ▶ 筆記試験(専門科目)および口述試験(面接) ※筆記・口述試験とも日本語による |
| | | 外国人留学生 | 2017年 1月12日(木)～1月19日(木) | 2月18日(土) | 2月18日(土) | 3月 2日(木) | 研修生 ▶ 筆記試験(専門科目)および口述試験(面接) ※筆記・口述試験とも日本語による |
| | | 研修生(留学生含む) | 2017年 1月12日(木)～1月19日(木) | 2月18日(土) | 2月18日(土) | 3月 2日(木) | |
| 臨床心理学 | 15名 | 一般 | 2016年 9月 1日(木)～9月 8日(木) | 9月25日(日) | 9月28日(水) | 10月 7日(金) | 第一次審査 ▶ 筆記試験(専門基礎・専門論述・英語) ※英語は英和辞典のみ持込参照可 |
| | | 一般 | 2017年 1月19日(木)～1月26日(木) | 2月18日(土) | 2月22日(水) | 3月 2日(木) | 第二次審査 ▶ 口述試験(面接)(筆記試験合格者のみ) |
| 人間福祉 | 5名 | 一般 | 2017年 1月19日(木)～1月26日(木) | 2月18日(土) | 2月18日(土) | 3月 2日(木) | 筆記試験(英語)および口述試験(面接) |

≫ 進学相談会日程 各専攻の教育内容の説明・教員による個別面談・入試要項配布

| 日程 | 場所 | 専攻 |
|-----------------------------|----------|-----------------------|
| 2016年 6月25日(土) 13:00～14:30 | 市ヶ谷キャンパス | 福祉社会専攻 臨床心理学専攻 人間福祉専攻 |
| 2016年 7月23日(土) 13:00～14:30 | 市ヶ谷キャンパス | 福祉社会専攻 臨床心理学専攻 人間福祉専攻 |
| 2016年 8月 6日(土) 13:00～15:00 | 多摩キャンパス | 福祉社会専攻 人間福祉専攻 |
| 2016年 11月12日(土) 13:00～14:30 | 市ヶ谷キャンパス | 福祉社会専攻 臨床心理学専攻 人間福祉専攻 |
| 2016年 12月10日(土) 13:00～15:00 | 多摩キャンパス | 福祉社会専攻 臨床心理学専攻 人間福祉専攻 |

法政大学大学院をご紹介する全体説明会など詳細は法政大学大学院ホームページよりご確認ください

<http://www.hosei.ac.jp/gs/>



- JR中央線 新宿駅から快速で54分(特別快速で42分)、西八王子駅下車
バス約22分(「法政大学」下車)
- JR横浜線 新横浜駅から38分、相原駅下車
バス約13分(「法政大学」下車)
- 京王線 新宿駅から準特急で40分(急行50分)、めじろ台駅下車、
バス約10分(「法政大学」下車)

法政大学大学院 人間社会研究科

資料請求はこちらへアクセス

<https://www.postin-svr.com/entry/hosei/gs/index.asp>

〒194-0298 東京都町田市相原町 4342
TEL.042-783-4047 / FAX.042-783-2808
E-mail: fukushi@hosei.ac.jp

<http://www.hosei.ac.jp/gs/kenkyuka/ningenshakai/index.html>